三才雜錄

十九

1000
3
帙入

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3

ガラス使用

特1000-3

巻六

神護景雲元年四月廿四日
農業事
仁寿二年三月十三日
忘勤レ督レ農業事
天長元年八月廿日
忘諸国荒田令民耕食事
同二年五月廿七日
忘作水車事
承和八年九月二日
忘設乾稲器事

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

同九年三月九日
　忩令百姓下種子并厩水事
貞観十三年閏八月十四日
　忩禁止鴨河堤辺耕営水陸田事
昌泰四年四月五日
　忩聴耕作紫親院并顕地五町事
和銅二年十月七日
養老七年八月廿八日
　幾内七道諸国耕種大小麥事
天和七年五月二日
　忩勞陸田事

同二年七月廿一日
　忩勤課播蒔麥事
養老元年十一月廿二日
　調庸事
神護景雲三年三月廿四日
貞観十三年八月十日
　忩責太宰府貢物麥悉事
天和二年十月九日
　忩交易申損諸国調庸雜物事
同八年十月七日
忩雜貢調庸并停輸還留状事

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

兼和十年三月十五日
忘令主計寮下知諸国調庸并副物封家
未進数事
同十一年十月十五日
忘待民部省移更勘納調庸物事
同十三年十一月十二日
忘納庫調庸并雑物盡旧貯新事
天平勝宝四年十一月十二日
諱司無故不上者放還本貫事
兼和十四年十月十四日
忘責太宰府貢物麁悪并違期事

兼和八年五月七日
負観二年十二月十四日
忘調庸未進代設非業博士医師公廨事
兼和十三年八月十七日
忘三年徴敷前旧乗調庸并官物未進
事
天平宝字四年七月廿三日
封戸事
宝亀十一年二月十二日
天平宝字四年十二月十三日
忘全給尚侍尚蔵封戸并位田事

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

嘉祥元年十二月廿七日
忘以忌稅充諸家封租事
貞觀八年十二月八日
忘禁制輒用不動穀事
天平十二年七月廿三日
出擧事
兼和二年十月一日
忘聽前司入部徵官物事
同七年二月十一日
忘且実録且班王臣并富豪百姓稻穀
事

兼和七年三月十四日
忘出擧文珠會料稻事
貞觀十二年八月廿二日
忘科責出擧姓納之日有犯吏等事
貞觀十四年七月廿七日
忘出納官物国司吏生已上隨犯科罪
事
天平七年五月廿三日
忘禁斬稻代所償田宅等物吏出擧
事
天平九年九月廿一日

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

天平勝宝三年九月四日
一応禁断出挙私稲事
宝亀十年十一月廿九日
禁断隠截事
貞観四年九月廿二日
応諸国雑米三進納限并責未進怠事
貞観七年八月一日
応進雑米未進数没郡司職田直事
承和十一年十二月二日
応諸司納米用秤事
肴衡二年十一月十五日

応諸国雑物以斗解検納者令納于正身
景進事
慶雲三年二月十二日
義倉事
天平宝字二年五月廿九日
応諸国義倉依実令輸并結用帳事
貞観九年四月廿日
応勤納去年未進義倉料紙銭事
元慶五年二月九日
応拘留未進義倉三位以上家司季禄事
承和十四年七月三日

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

応令積進諸国神税帳勘出物事

貞観十五年九月廿三日

応以欵虚納欠損国司公廨先補所欠

事

兼和元年十月九日

応依一万一千貫文支度鋳作年料銭

事

兼和八年閏九月廿九日

定採送鋳銭目年料銅鉛数事

兼和十四年二月廿九日

応没不送造銭料物諸国司公廨事

嘉祥二年十月朔日

応停納官使送納鋳銭司庸米一百廿

解支

貞観十八年三月廿七日

一応停止鋳造銅器交易民間支一応採

銅料物充行当郡事

宝亀十一年十一月二日

定私鋳銭道従并家人罪名支

貞観十年十二月廿二日

応没私鋳銭者田宅資財事

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

卷第七

神龜五年九月六日

禁制事

天平神護二年三月十

禁斬西京畿内賭博事

寶龜十一年十二月十四日

禁斬京中街路挙起事

天平勝寶九年三月九日

寶龜十一年十二月四日

忘禁制壞燒墓事

貞觀八年三月廿三日

一禁制諸司諸院諸家所々之人焼尾

荒鎮又責人求飲及臨時郡飲食

一禁制諸家并諸人祓除神宴之日諸衛

府舍人及放縱之輩承例食責被物事

寶龜二年八月十三日

忘禁斬月二旬日并寺辺二里内殺

生事

貞觀四年十二月十一日

忘禁斬月二旬日并寺辺二里内殺

生事

貞觀二年十月廿一日

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

応制特諸国禁野事
天平十三年二月七日
天慶二年二月三日
応禁院毒補奠事
貞観五年三月十五日
応禁制貯銭事
同九年五月十日
応禁制王臣家脩封郡司百姓等稲事
寛和二年閏三月廿五日
勅旨并親王以下寺家古地除墾田地
未開之外不可伐損事
天平勝宝八年十二月十七日
宝亀十年十月十二日
応加禁断事
天平勝宝二年十月十四日
禁断雙六事
貞観九年三月廿七日
応勤施方略早断盗賊事
同二年九月四日
応禁断帝籍人往諸司諸家事
仁寿三年四月廿二日
応禁制孫王任意出入畿外事

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

貞觀三年三月廿五日
　　　

忘動移補左右近衛左右兵衛帝
皇百姓及決罰主殿主鷹織部
等寮雜驅使并犬飼餌取等
負観十二年九月十四日
一忘減定諸衛府舍人等及放鷹之輩
永酒食責被物事三箇條初條
負観二年九月廿日
忘依法見決王臣家人事
同七年八月廿一日
一忘隠須絶戸田為他被告者依法科罪

事二箇條
第二十

兼和元年四月廿五日
忘捜勘言上飛驒工事
主鼡四年八月廿九日
忘捜捕盗賊事
天長四年十一月十七日
忘移式兵両省令折留贖銅未輸之人
位禄事
同五年十二月十二日
一忘停貶奪職吏考禄位法贖銅事

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

一応皇親准主典奪禄事
天長五年十二月十二日
貞観十六年七月廿三日
一応停京職官人贖銅復苗賦奪考
禄事
一応詩司三度以上不参臺喚并不辨
申動支者停給孝禄事
天長九年七月九日
応納雑色人贖物支
宝亀十一年十一月二日

定私鋳銭貢従并家口罪名事
兼載鋳銭支
貞観十二年十二月廿二日
応没私鋳銭者田宅資財事　兼載
鋳銭部

東土野　新田金山城主
由良信濃守國繁刑ア入道宗得子
足利西郡小俣城主
佐川相模守義勝

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

佐野城主小太郎宗綱
東上野勢多郡相生城主大炊介直綱
子孫宇和嶋重長禅寺ニ又太郎直
綱碑アリ什物忠綱畫アリト

古ヨリ大逆ノ者其姓名ヲ改醜名ヲ加
ヘテ之ヲ罪スル者多シ和氣清麻呂
配流ノ時詔メ名ヲ別部穢麻呂ト改
座主明雲流罪ノ時藤井松枝ト改

高倉宮以仁王被殺ノ後隙以光ト改
淺泉為頼疵腹ニ作ルノ類多シ
參考太平記

水戸城 在茨木郡 古ノ那珂郡
東西十余里南北二三里前ハ襟仙陂
大湖後帯那珂長柄上世大掾氏始築
累世在此後江戸氏数世為城主天
正文禄間佐竹氏在之
大掾氏ハ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

國香 ― 貞盛 ― 才蘂 盛

為幹 ― 母越前守大中臣國良女

安忠
維茂
維望
維幹 ― 任多氣村号多氣平太夫
兼忠

為賢

蘂幹

三守 伊佐下妻 真壁祖

致幹 多氣權守
清幹 馬瑞氏祖
政幹 豊田氏祖
重義 小栗氏祖

女 賴義妾

直幹

義幹 太郎代々任常陸大掾号八田 知家 有隆 知家 後賴 朝廷 義幹

盛幹 ― 資幹 ― 純多氣氏

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

忠幹 行方氏祖
成幹 麻鳴氏祖
女 原義繁室佐竹昌義母

朝幹 ― 教幹 ― 光幹

時幹 ― 盛幹 ― 高時 仕南朝 屬尊氏

詮幹 始築府中城 ― 隣幹

頼幹 仕持氏 ― 清幹

大掾ト小山佐竹宇都宮那須長沼結城小田ヲ時人云八大家

江戸但馬守通勝逐清幹奪水戸城
清幹移府中城通勝子道房子道鶴子勝道忠道重通重秋之義重居水戸城

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

常陸平氏傳云　大掾上総介重幹有
四子長曰多氣権守宗幹二曰吉田
清幹三曰石毛荒四郎忠幹四曰小栗
五郎重義宜幹有四子義幹仲下妻
四郎忠権守弘幹叔重栄五郎忠幹
季真壁二郎長幹
多氣平太義幹牌有無量寿院藥
筑郡小田ヲ
又云吉田清幹長子太郎盛幹之二子
太郎幹清吉田ヲ主ス石川二郎家幹

家幹十子アリ吉田太郎平戸祖　二郎
助幹為大掾三郎天神五郎武幹石川六郎高
大野八郎大戸九郎吉田十郎望幹八
武幹為養子吉田ヲ立ツル
又云江戸氏始那珂氏又号小野崎
姓藤原　云通子佐野成通子小野
崎通成子那珂五郎通泰子江戸産
五郎頼通子通勝六世重通元竜元
十一月六日元服号彦五郎重通承

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

四八月四日从五位下相馬守

笠間城 在新治郡

東鑑从五位下長門守兼左衛門少尉藤
泉朝臣時朝食邑笠間地因地為氏時
朝ハ宇都宮成綱四子朝業有二子
長親朝盛各氏祖次時朝仕頼経有
寵子上野朝村共為左大臣道家簡
衆ト云ハ左大臣簡書ヲ賜リ殿下ニ出入
スル者ヲ云時朝善和歌朝村以善射也
嘉禎中从五位下左兵衛尉長中任長

門守文禄(イカ、)二年二月九日卒年六十二
其子左兵衛尉朝景其子盛朝ニ十五
世休心カ代ニテフ

府中城 在新治郡

大掾詮幹築之曾孫清幹為江戸
氏所逐退保此城其子高幹其子
常幹其子慶幹其子貞国其子
清幹九世孫府中大掾

下館城 在真壁郡

長尊元丁未水谷氏築之

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

土浦城　在新治郡
傳云平將門築之中葉菅谷尾張
守居之

筑波山　筑波郡
黒前山　多珂郡
尺丈山　同
見国山　同
金沢山　同
西金砂山　同

芝尾山　新治
鳥子山　那珂
武生山　久慈
真弓山　同
東金砂山　同
榊ナル山　多珂

花園山
松嶺　都久岡
諏方宂
高天原
雷斬石
小野牧
月折山曝布
雄井
箕輪江
高天浦

八溝山
名那坂
秋鹿　那珂
要石
志筑森
三日原
袋田温泉
玄水行
香澄浦
波逆浦

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

廉鳴浦
絲依川
水無川
鳥羽潮
掌地
仏皮潮
那珂浦
氣比地
久慈浦
慈懐川

同芋
蠶養川
大室潮
牛久潮
洞沼潮
那珂河
村松潮
久慈河
大北川

苅野橋 カミヽ郡
大橋 クミ郡
廉鳴神社 カミヽ郡
大洗磯前明神社 同
大国玉神社 ヽカヘ
楯縫神社 信太郡
長幡部神社 クミ
天之志良皮神社 同
天速玉姫神社 クミ
静神社 クミ

楯川橋 土浦
新通河 ヽカ郡

国玉神社
門弥神社 同
薩都神社 同

白羽村明神也
今不知
稲村神社 クミ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

三野神社 ソシ
吉田神社 ナカ
大井神社 ナカ
藤田神社 今不知
稲田神社 新治
夷針神社 茨木
主基神社 同
三枝神社 今不知
於波都祇神社 同
各造神 同

筑波山神社 ツソハ
阿波山上神社 ナカ
青山神社 ナカ
石船神社 ナカ
鴨大神御子神主神社 同
羽梨神社 同
佐波ノ地神社 タカ
阿仁神社 同
村上神 同
菅田神 同

倭文神 クシ

右常陸国志

蝦夷ノ俗花神ヲ敬メ祠壇ヲ設ケス真飲食奈ル可ハ像廷尉義経之東部廷尉居止ノ墟アリ土人最勇ヲ好ム夷中皆畏之夷俗凡飲食之ヲ祝スルニ及テ才キクルミト云之ヲ問ハ則判官トス判官ハ其所謂ヲキクルミナリ夷中廷尉ヲ称スル可ノ言ニ廷尉居止ノ地名ヲハイトス夷中ノ呼称ハイクルハ即真地方ノ人也西

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

部ノ地名ヲ慶、時ト云アリ或傳廷
尉ヨリ去テ北陸ヲ踰ト云寛永中
羊越前国新保ノ人僕メ鞦鞳ノ
地ニ至ル旦歳変未晴主乃真人ヲ孕
テ燕中ニ入ル居ル二歳産動ノ朝鮮
ニモシ送テ返ス真人ノ云奴児于部
門戸之神此間廷尉ノ像ヲ画ノ者ニ
似メリ乃以異図トスヘシ
右白石先生蝦夷志

内宴ノ始ハ淳峨天皇ノ時也弘仁四年癸巳
ノ歳獣梅花之序野桐云書之云〻
幼主帝書始ハ十二月庚寅日ヲ被始事之件
一警蹕ハ天子用之文選私行ノ時
一南庭ノ梅樹ハ旧跡之普述都以前橋本太
夫宅之枝葉下改及天花未〻
一聖花太子御劔銘四字
丙毛槐林
一丟宵律師弘仁五年初任律師辞退子
云

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

三輪川ノ清キ流ニ院テシ
衣ノ袖ハ更ケシトシト

又大僧都辞スル事多キ
外国ハ山水清シ事ナリケリ
君カ都ハ不住ナリケリ

一置上下ヲ知テ丁數事面筵ヲ裏ニ折返
テ閉ル付タルヲ上ト知之ヲ折ニテ只舟ヲ
下ニ丁數也

一名物ノ笛ハ大水龍 小水龍 青作
葦二 村雨 中管

釘打 庭筵

横笛ハ大水竜 小水竜 天厂御時宝
物也 穴(アナ)ト貴(トウト)ク

筆ハ大蛙男繪 小蛙男繪 雲和
法花寺 不不晉 小筆

一琵琶ハ玄象 牧馬 井手 間橋 為覚
木繪 元真寺 小琵琶 益名

一和琴 井上 鈴鹿 朽目 仁露 有院
宇多法師

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

一等　大螺鈿　小螺鈿
一三鼓　黒筒　神明寺　秋風

蘭着花時錦帳下
中　白氏文集第一ヲ　廬山雨夜草菴
白雲似帯圍山腰　青苔如衣負巖
北月　在中
真圖對我無詩興　帳下
菅大相国

花色如蒸栗　俗呼為女郎　順
内宴數半開花
酔中賓數欵真。
未得將心地忍之
行幸行陽官
閑閣唯聞朝暮鼓
登楼遙望往来船

延喜御製

離家三四月
万支皆如夢　菅家
時ゝ落涙百千行
作被蓄

弘仁御製

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

一画舟後国田辺篭城慶長五年七
月十八日ヨリ九月十二日マテ
一七月廿七日為勅使八條殿ヨリ諸太夫城
中ニ入ラレ對面ノ上自筆ノ古今集證
明ノ状献シラル為九光廣ニ古今傳ノ
誓ヲ遣ス
一日不相分為勅使三条大納言実條公中
院中納言通勝公為九中納言光廣
公下向右ノ勅使三度ニ下向

右江於抄

一九月十二日敵軍開ノ
一八條宮智仁親王古今傳ノ時誓詞
古今集傳授之儀不可
有他言若二心有之
神罰冥罰可蒙者也仍如件
慶長五年九月十五日 幽斎
右細川家譜ノ秘書越中守重賢
ノ家士宇治孫路藏

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

常陸國久慈郡大田郷西三四里ニ旌
楯院アリ院ノ東ニ大楊樹アリ一根両
株大サ牛ヲ蔽スヘシ盤施方数十畝
三月花ヲ開ク葉裏小針吹旌ノ如シ
条周ノ楯ト同シカラス土人相傳フ昔
天皇ノ世源義家奥賊ヲ討ツ凱旋
ス営ヲ此地ニ結フ兵馬ヲ休息ス義家楯
楯ヲ用テ旌竿トス旌ヲ司ル者旌ヲ此地ニ
樹ノ営ヲ徹メ敢リ去ニ及テ旌ヲ司ル者旌
竿ヲ遺テ去竿根地ニ入テ萌芽ヲ生ス明

年三月花ヲ開大楊樹ト十九後人名テ旌
楯ト云水戸頼房始テ一本院ヲ楯ノ傍ニ
建テ名テ旌楯院ト云楯樹心腐テ大空
洞アリ蛇アリ盤蟄スル長二七尺ト云

日本紀略ハ藤原敦光撰ナリト云
極城録ハ宗菴作ニテ天満宮ノ事跡ヲ
書リト云

新儀式
建幸故実抄
新任弁官抄

タ拝至要抄
本朝貴女抄

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

魚魯愚抄　弘安
承仁郎位記　安倍親景　弘賴
延喜内匠寮記　作
元秘録
天厂天龍記　治厂記
康和記　保安記
大治記　長承記
天養記　久安記
久寿記　長寛仁安記

寛治記
天治記
康治記
仁平記
嘉応記

兼安記
養和記
文治記
建仁記
兼元記
文仁記
寛喜記
嘉禎記
仁治記
教代幸行記

安元記
壽永記
建久記
元久記
建厂記
嘉禄記
貞永記
厂厂記
平防記
往太政大臣記

治承記
元厂記
正治記
建承記
承久記
安貞記
天福記
厂仁記

大嘗會記
弁卿勅使記

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

平野行幸記　行幸次第　永久記
元永記　元弘日記　迎陽記　菅秀長
本朝雜抄　本朝別記　大鏡陰書
翁鑑　安元加賀見記　通親巖嶋記
弁内侍寛元記　亭
寛元三長會　延徳行幸八講
宇槐祇記　宇長作　宇庫山記
駿河日記　駿河續記　二部共宗長
紹運要略　編年要略

伊勢年代記　亭
曆林問答　録以後年代記

詩集

雜言奉和　田氏集　田口達音
予向住向維時　階賞詞葉　水石亭詩　時平會

關東評定傳　蒙古軍記
關城書　元弘殘簡
足利將軍官位補任　鎌倉執權記
応永季々年記　永徳行幸記
永享記

相山星移集

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

関東合戦記
春日社参記
門卅将商記
新撰信長記
豊鑑
松雲問答
諸国合戦記
改元記
大内物語
江濃記

薩涼日録
忘仁署記
究太元服記
増補信長記
秀吉三戦記
武家旧違文
来松物語
三好別記
大内家法
越卅軍記

八幡社参記
三利季世記
鎌倉九代後記
本能寺記
朝鮮戦後
卅門記署
細川家記
大内旧記
高林庵記
何越戦記

卅中嶋戦記
荒木署記
氏々記
毛利違文
武家物語
義残後覚
秀遠別記
今物語八信実作 覚長別記
尾張古戦場 覚玖攻奪八二条兼基作

三卅戦署
白川結城旧記
元就傳
嶋津家記
大須賀記

大友記
相馬家記
毛利旧記
松浦違文
服攻家記

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

義清 佐ゝ木五郎 法名蓮清
八月二日卒

昌義 左エ門
真頼

昌泰 太郎
静恩

信清 四郎 了心

了西

泰清 信乃守 泰覚
八月廿三日卒

頼泰 兵庫ノ
三月十五日卒 覚道

貞清 弥二郎 了通

時綱 宮内少 三川守
二月廿九日卒
時円

義綱 遠江守 義覚

高貞 領覚

二郎
冬貞 近江守

通清 三河守
四月十五日卒
七十七

昌光

光佗九

満通 三川守 心通
卒年五十

高清 三川守 遁蔵
七十二卒

豊高 兵部大
美山通英

貞綱 宮内少 三川守
明応十三ノ八卒

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

貞清 五郎
貞慶
国久
貞平十四世
行高 十太郎
長年
長義 十三郎 四位 但馬守
義高 治部太夫 延文三五廿二 於泉堺討死三十七
基長 将 三郎 左エ門 三十三テ出家
長生 小二郎
高光 四郎左エ門 乙童九 建武三十一月於西坂本 討死廿二
高則 孫一 左京進 七セン守
助高 鬼五郎 左エ門
行氏 六郎 左エ門 アキ守 三五下
氏高 竹万太郎入道 覚妙 三平十二三ノ廿九
女 彦三郎 忠秀室
長重 太郎左エ門 大井ノト守
義氏 二郎太郎 アキ守

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

高童 八郎 从四下 村上美作守
保盛 三ナノ坊清眼 正平十三十二ノ十三 於肥後
八代 辛五十三
行泰 十郎 ヲキ守 建武二於舟上自害

小野
敏達帝 ― 春日王子
妹子 大花 ― 毛人 同中納 小錦中 兵アヽ々

毛野 从三中納 和同七四一死 ― 永見 从五 ムッ介
峯守 三未从四刑アヽ 大二 ― 望雄 从五出羽
恒朽 播广守 从五下
吉村 石見 伊豆 从五下
廣澄 大隅 実卓業恒子業恒ハ舎人王二世孫

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

近登　以五上周防　一説武衛先祖

先祖児玉中葉移尾州本姓平氏后藤東翠
代仕武衛今又隠氏

長改　近作　佐名禅英　仕武衛

長忠　将監　生児玉村

長秀　一万千代　児玉村人　五郎左エ門

長重　九兵エ　元和元五討死

長宣

長正　備中守　早世

高吉　藤堂宮内

直改　蜂屋出羽守　越後守　頼隆養子

長俊　長門守

長次　三左エ門

長　三左エ門　千石

長寺　遠江守

長通　近江守

長利　平三郎　五左エ門

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

本多忠豊
辛三郎 光勝 ― 平左エ門忠光
百助信俊 ― 百助信勝
百助信次
隼人 ― 藤四郎

頼朝子春若後多田式ア太夫忠頼ト云頼朝
古キ幕ヲ玉フ皆タ破テ名畳ニ似タリ是ヲ
家紋トス真子式ア忠明和賀市平ト云

右本堂家傳

細川
清元 天文廿一三廿一 ― 信吉 二郎 右京太夫 始昭元后
出家 信意 仕晴氏

頼元 ― 奥州高田城主 仕義氏
頼孝 二郎 同城主 天三十九
秀吉 没収

右京 ― 信元 孫六 右京 秋田臣
秋田実季伯母嫁

右京

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

沼田氏ハ葛原親王十二代ノ后胤沼田勘ケ
由左エ門平景安始テ上野国利根郡庄田ト
云所ニ住ス今ノ井土ノ上村是ニ此所ニ五代居
メ夫ヨリ下秋田ヘ城ヲ移ス四代目ニ居ス
景安二代ノ孫沼田三郎清重商人通ト云
人文武二道ノ達仁ニ此代ニ同郡南ハ庁
呂ノ江北ハ薄根幕岩ノ東二城ヲ移シ庄
田城ト申ニ或時合戦アリ水ノ手不自由ニ
メ諸支難義ニ及ビ已ニ危ク見エシ時城
主謀ヲメクラシ白米ヲ桶ニ入桝ヲ以汲

カケ馬ヲ院ヒ敵ニ見セシム依之城中ニ水
アリトテ城ヲ巻ホリシ引ニケリ敵ニリ城
方ノ勝利トナル去ニ依テ彼城ヲミフキノ
城ト名付メリ来ヲフルクミヨ以カケル文字
也
城祈願寺ハ庄田下沼田氏ニ常光院之然
ルニ数代繁昌メ城地三ケ所ニ替ル清雲
玉泉龍雲寿是ヲ改テ清雲山知徳寺ニ
光院ト云ニ庄田城ヲ家老和田四郎ニ
賜ル故和田屋舗ト云今ニ云傳メリ
景安十代孫沼田上野介長禄二年干ノ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

トミ幕岩城ヨリヲモテ西ニ當テ利根落
根西川ノ落合近所ニ當国ノ鎮守武尊
明神ノ社アリ當国木撰ノケンナニノ場
所タルニ依テ社人明平民部ヲ召テ沼田
城ヲ築クヘシトテ明神ノ社ヲハ城下淳根
ノ岸ニ建ミ久武尊ノ社ヲ榛名ノ社ト申
事ハ沼田上野分ヲ鬼秀入道ノ市代ヨリ
今ニ申ス

一沼田ヲ鬼秀入道ノ市屋所ハミノハノ城
主長野信濃守景重ノ女ミ吉比東国
ノ官領平井ノ城主上杉民ア太夫景

定ミ長野彼家老タルニヨリテ大剛刑部
豊定ヲ以ヲ鬼秀入道ノ東方奉知ト
メミノハノ鎮守ヲ小林左近兩人ノ兼リ
ニテ勧請ミ奉リ武尊ノ社ト一社ニ祝奉
ルニ依之冬詣ノ人ミ(おほ)ニト榛名社ト斗カ
ミ今武尊榛名天満(あまた)天神ミ社ヲ一社ニ
祝奉ル

一沼田ヲ鬼秀入道嫡子三郎ニ沼田ヲ
譲リ末子平八郎ハ景吉ト一所ニ川場
ノ江ニカリレ居ぬふ永禄年中ノ変ミ
平八郎ハ東ノ入退貫村ノ名主金子

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

ト云者ノ女ニ天正元年三月四日ニ沼田三郎川場ヘ年礼ニ参ラ討メ三郎ヲ討此時沼田氏タスル

一同年越後ノ城ヲ長尾謙信ヲ川田依岐守城代ニモスル再年川田沼田ノ城代ヲ勤ケリ

一天正七年卯年北條氏政沼田城ヲ取藤田能登守城代ニ置

一同年八月甲州武田勝頼ヲ市手ニ入沼田ハ清和天皇貞純親王三十一代ノ末孫真田氏ハ従五位ノ下弾正真田安房守

童之丞ニ行ヲ城代ニスル真年沼次ノ村ニヤウカイヲカマエ是ヲ移ス海野能登守金子美濃守渡辺左近之進沼田城代ス此カタニナノヤウカイニハ小林主水木村文後大岡金五望月弥平太是四人城代スル也

一天正九辛巳三月光圭沼田平八郎新田郡ニエウ信濃ヲ頼沼田エウラン事ヲ頼沼田ニカウサニテ有ニヨリノミニテ三月十五日ニ町田村ノツワニヨニ堂ニテ其ヨヲメギ水クルマヨリ本城エセメ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

入ケル城方ヨリ山名弥惣吾野直平岡野
吾平内ヲウチミナ金五ガ心替ノ上ニテナリ
一翌三年ノ春海野キ（逆心ヤリシヨリ真田ニ行
方真田依攻寺ノフ（信）ユキ（辛）ハセムカツテ是ヲ
ウツ其次ニ行行ノヨゲ一徳戻入道ノ
才矢沢薩ケ寺頼綱ヲ城代トスルナリ
一天ニ十七年丑年大閤上意ニ依テ沼田
領三ケ二北條氏ニ渡ル三ケ一真田ニ下
下置家安ヲ信州イナノコウリミノワ
領ニテ真田ニ下置ル此時大坂ヨリ津田
隼人ニ伊井左近將監上使トシテ境目

発足三テ市見方ノ上名桃ヨリ利根川西
真田ニ渡ル但ニ其比家妻ハ信州ノ内申構
ナニ然ニ二北條ヨリ沼田ノ城代ニナカレメル
猪股能登守同年ナリ城ヲノツトリ
鈴木右近ヲ是ニヨリ去ニ依テ翌年秀吉
ヲ小田原ニテ市出馬アルニ北条一家コトゴク
市チウハツ有同年沼田ヲ真田ニ一圓ニ下
ル沼田ハチヤリニ原三郎在城ナリ心行ハ
信州上田ニ在城ナリ

一慶長五年真田安房守ニ男左エ門佐信
為ハ名田治部ト一味メ逆心ヲ企上田城ニ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

籠城スル真田伊豆守信幸ハ太閤ノ命
味方ニ参上田市楽内
上門佐古今不双ノ弓取トイヘ氏天運ニ
ツキテ此謀伐ニ極ルトイヘ氏信幸ノ忠
節ニ依テ此敵免アリ高野山ニ入法幹
メ奥ヘ雲入道ト云モ後沼田上田トモニ真
田伊豆守ヨリ下ル伊豆守ハ信州上田在
城ニ沼田ハ嫡子河内守ヨリ下ル
一慶長十一年午ノトシ沼田ノ町割始同十
八年ニ成就スル人是ハ沼田領信州上田
領ニテ相勤ナリ

町割奉行

菅清奉行

稲津志ヶ宮幸直
坂部庄次郎
市村戸右衛門
大熊小市右衛門
丸山戸田智本ノ
浦部七左衛門
出浦上郎次
小林文右衛門
き川橋右ヶ名
関部名平門

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

大二

一上野国利根郡沼田ヲ
景勝ヨリ武田勝頼
田安房守昌幸ニ与下置小城代矣
薩摩

一真田家ニ代沼田ヲ領ス真田伊賀守
代ニ城債ス但両羊債申小十七羊市藏
入重羊内藤式部七千石拝領ニテ下小
田ニ居ス五羊昌後未羊ヨリ奉多伯耆
守度市拝領城普請始申小

柳惣左衛門
松井松吉支

天正七羊己卯ニ上杉
景勝ヨリ進上ス依勝頼ヶ真

沼田氏武家大系図ニハ佐伯羅後守
遠義五子沼田七郎家通ヲ祖トス藤
原也

平一授

康経 平内左ニ門
康頼 平判官
康重 平五ニ門
盛次 平三郎左ニ門 平蔵後守
平豊後守 平中勢太輔

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

平三郎 ― 平八入道長順

平三郎左エ門勤平入道庵斉
清水勤右エ門

戸田一説
庸光子
庄左エ門光忠
孫右エ門氏輝
豊五郎重光 ― 主殿康重 松平丹波守

丹後守 全香

孫左エ門氏光 吉兵衛 休祖 ― 一西

氏鉄三子
相模守氏吉 ― 氏後 権之助 ― 右見佐渡 對馬守

永二 七十一 十二於 吉田城討死

吉兵衛 十兵衛 五門

民常 民部 三千五百石

武野紹鴎系新五郎為久法名宗尾真子
新右エ門真子新五左エ門仕尾張

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

建部傳内秀賢筆遺之一流祖文八原四郎
頼昌又八原八郎秀明壬申五一向乱ノ時従信
長討死秀明カ兄大藏太輔秀治ハ左
近将監信勝
羽柴下総守雄利――壹岐守三利
寛永二十七死
三十六
利貞――利改――ヲキ守――イチソ――
長門守実ハ土キ頼行ヵ
利久相模
利庸丹後
大膳
城之助
玉吹一郎右衛門
一益子八九三九郎二人男義太夫詮益最上
義光ノ臣高内又七後和泉守光義ハ
名越朝時カ末又三郎成時子又七郎隆時
カ后孫備後守時光子也寛永十二年十月
十一日百才ニテ死子又七郎親昌
改真子又七郎時重後親重ニ

菅沼家異説

土岐頼康二子

隣貞　鳴田伊予守

安達　鳴田新三郎　改未和多武ア少輔
後伊予守　文明中同院実照配流三川
国高来庄ノ時従之進行

定直　同新三郎　後改菅沼信乃守
永享六二廿四将軍義教命定直討
菅沼信乃守後賞之賜菅沼領
地於定直於是称菅沼後沿才新六
郎後栄不属兄子孫仕将軍家改称
西菅沼有保藤西氏

定吉　菅沼左近　公立下　信乃守
生三州額田郡菅沼庄
後則　新三郎　大膳亮
改定鎮　母大橋和泉守童ニ女大永
四年大橋子織田彦五郎戦ノ取　属大
橋氏

貞房　鳴田四之助　伊賀守
女桃井但馬守隣成室　仕信長

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

女 土岐兵ア少輔定明室 定改毋

定廣 新三郎 築後守
始築城於三毋段嶺而以居住之或云
龍ヶ城永二八年奉仕 公元亀三服
武田

定則 新九郎 伊豆守 子孫アリ
始築城於三毋長篠居住
貞後 新八郎 始住三毋野田城
法名不奉

定如 新八郎 織ア心
弘治二年八月四日討死三毋西山城三十
二法名道雲

定盈 新八郎 織ア心
孁長九年七月十八日卒長鳴二十三
法名宗堅

定仍 新八郎 志ナ守 子孫仕紀毋
孁長十年十月廿五日卒三十
定芳 左近 織ア心
孁安元四月十七日卒二十二

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

定秀　主膳　子孫アリ
定知　修理　子孫アリ
定拾　田中主殿

定照　左近将監　毋松平周幡守康元ノ
領七千石
定実　主水　摂津守
定垣　主税　越中守
三千石　寛安四八月廿
元六十四月廿三日改伊賀守
二月～十二日卒
伊賀守
十二日以五位下
伊賀守同十三

定之　大学　三百俵

定廣　民部

定童　三郎四郎　織部
領三州設楽郡新城
女　松平近江守　庄田小左エ門安利
朝岡権三郎直国宝

蔵二郎　毋松平筑後守忠純女
熊二郎

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

傳說

一云攺新太郎名彙不知自美乃岡山傳ニ尋鷹三卅作手内木和田村へ来リ三郎左エ門ト云領屋方へ入聟ノ後近所田入ト云泉ニテ鷹ヲ居上ル所ニ氏神勸請ス菅沼三郎左エ門滿成ト名彙今ニ旧宅地有之

一説ニ富永未葉共ニ傳ル大律氏攺又葛山系図ニ菅沼甚姓攺陸成澄之友ヤ傳ル近ニテ郡ハ三卅設乐郡富永庄作手三十二村支沼嶋田塩瀬末和田

一市場村ニ奥平八郎左エ門定俊住ス信昌光祖ニ

一刑部貞方吉田峯ニ城ヲ取ニ住ス文明十三年丑十二月十五日藤泉貞吉ト有之也嫡子奥沼伊賀定行嶋田ニ住ス同定盛田内ニ住同定勝井道ニ住ス同三照伊賀久助孫太夫孫作身ト云伊賀三照ハ天正十年迄武田方ニ後三方ノ代官ヲ仰付木庄メ奥沼ニ仕無男子秀康ニ仕無男子

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

一長篠菅沼小膳後下野ト云従ト不知
刑ア二男名乗後則
同左エ門尉負景同新九郎ト云負左馬允元負
半兵衛仁右エ門左エ門子
左エ門定後下野次男伊豆満直弾正
都田村へ移住ス菅沼二郎左エ門後弘同二郎
右エ門元景同二郎右エ門加意軒同新左エ門
新助作左エ門
一刑部二男大膳定忠法名心月秀田峯
城主嫡子大膳負廣同新太郎定純

是ハ弘治二年布里ニテ討死ス同小法師
名乗不知後刑ア信州ニテ新三郎ト云
一定忠嫡子定廣二男十郎兵衛定成後
住ノ初大倫村後新城
ト云所ニ城ヲ取立今ニ古城アリ三男弥三
右エ門定直ト和田村ニ住ス此人ハ大膳
又ト云説有之不分明
一四男八右エ門後常陸定仙定廣天文七
年大野井代ト云所ニ城ヲ取移ル永禄
十二年棟札ニ藤泉姓ト有之嫡子菅沼
藤蔵満松ニテ奉仕
神君実父土岐

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

氏二才ノ昵八右エ門方ヘ毎歳季リ養ニ月
ス土攻山城寺祖ニ五男林左京里瀬
協老村林佐渡ニ童方ヘ養子ニ男
永住寺住持文野リ真外一族菅沼
帯刀同三五郎同原助同次大夫新助
左エ門二郎八郎新五郎数久有之菅沼美
濃今川時代旗下ニ松平雅楽助親重
同兵衛太郎同左近次郎豊田藤助秀
吉武州内藤 忰子村新次郎後川手主水
平氏
景隆 塩瀬村宮内左エ門資時塩瀬権

次郎大伴氏 田峯家老城守道寿帯木久
内山川清兵衛今泉孫右エ門武節城代
清兵衛ハ弘治二年布里ニテ新太郎定
継ト討死ス真時多ハ家老役ヲ代官ト云
一新城近所平井村ニテ心月城ヲ被防居
メ死去大膳塚アリ真後定廣ヘ近所江
ク葬ト云所ニ城ヲ取立新城ト名付後
真平九八郎移リ天正十八年ニヲ上州
ホ幡代高ニ成二万石嫡子大膳家改
二男摂津守忠改三男下総守忠明出生

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一竹千代定忠未子ニテ野田富永跡絶今泉
招キ十三歳ニテ野田ニ来リ菅沼新八郎定
則ト云入道メ不春云泉龍院不春
軒ト云寺有之嫡子新八郎定村弘治二年
西山ニテ奥平作理定長ト戦ヒ討死才
新三左エ門半五郎同所ニテ討死定村法名
道雲ト云野田ニ寺有之四男傳一五男三右
衛門二男加賀七男又左エ門遠州ヨリ入国ノ時
刑部城主番ス女子二人西々殖正左エ門役
一定村嫡子妻
樂越中妻
一定村嫡子虎之助二男新八郎定盈法名
宗賢女子本田重之助松平兵庫丸山
傳才郎遠州横須賀大久保ニ住ス
一宗賢嫡子志ん寺女子本田越殿助坪
内惣兵衛酒井作左エ門菅沼主膳菅
沼左近後織部定長帯同佐須田中主
殿
一菅沼小大膳定則利カ花井氏ト云説アリ
ナハ伐羽二右エ門モ庄松平中ノ御代ヨリ随成檜
又モ亜之小永禄四年東三川山家三方
野田西々設楽ヨリ味方ニ死成ル菅沼藤十
郎ヨリ大膳塩瀬直右エ門ハ同時ニ相詰

奉仕其外ハ在所ニテモ
ハ大膳度ニ有戦功
信心報ニト伊奈郡ヘモ
豊田藤助塩頼是ニ
賀名野新蔵朝日予助後丹波真外子孫
今ハ旗本ニ在然処ニ
息兵庫代ニ成家
家中引付我侭致
末国安認順松ハ訴
成双方ヘ召寄ハ奥
成吉岡ヘ帰ハテモ後騙リハ女小大膳ニ
ヘ帰ハ成敗仕ハ報ニト
神奈弐ア
家老
ヘモ吉岡ヘ押
リ切テ出ハ大膳家来
死塩頼豊田有働覚
動氣ヲ蒙ハ大膳ヲ抱
ヲ乗朝ト働林久左ニ門
仕ハ由順松ニテ村上弥右
助兵衛ヲハ救ヘモ成ハ
一天ニ十八年ニハ大膳上
ヘ帰ハ吉井高二万石

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

於下総国子角辛九八郎信昌二男忠七郎加納
播州神君養子ニ被仰付松平播津守忠政ヶ
卒ノ跡上田城攻伊勢崎之搦手ニ向ニ采幣
ヲ取捕卒ヲ陣メテ朝日子助奥平左七郎春
田虎藏後役後尽彩骨一番ニ攻入曲輪乗
取依之濃州加納十万石下家臣巻田
朝日十大膳ヨリ附丹波八有故三退本多
美濃守ニ内ヲ後仕秀康主松平
出羽守家臣ニ塩頼ハ信州
繋居ヶ後世悴塩頼守若子
召出忠政嫡子子松後
附筑弾守早世ニテ息右京トテ来子ニテ相
果断絶ス
一千大膳ニハ防居多ニ武州忍城二万石下
無入部ヲ相果高木直左衛門城代ニ仰付
小大膳家来花井伊賀名野新藏真外
十八人忠政逝市旗卒ヘ
之忠成ト云ハ是ニ
一野田旧知富永代今川無相違自岡崎
市澄又村附有之永六年七月廿四日
松平藏人佐元康市澄
ト有之
文ニ菅沼新八郎殿

一今川旗下ノ時遠州ヨリ高部喜阿合阿
西ニテ黒頸旧知因幡へ味方中ニ有不残
取上其後自　神君ニ拝領メ七千貫
一今橋城吉田ヘ引伊東左近将監元実後
大泉肥前祐良今川伊代
一伊奈半多陸文二通依此所望本多隠
州ニ一通本多伊折
州康茂ヘ進上之旧知村有ヲ
方ヘもミか棟札陸文進ル之大同山
書付有之定テサキ拠ニ可有之歟
泉龍院鐘ノ銘　藤原織部入道不春
新左エ門定徒方ニ藤原姓トセリ

右之通陸文有之候人体ニ而ハ無之候共先
叶御心候条老衆衆存ニ
之通ニ而ハ候共当分ニ有御遣
条ニ而ハ無之候間不
十月十七日　　摂津

一又曰菅沼氏ノ元祖いま土岐弾正少弼頼遠
ノ次男土岐新三郎ト云自濃州尋鷹ヲ
三州ニ来真鷹ヲ居上メル所ニ八幡宮ヲ
勧請テ此ヲ有之則菅沼家ノ氏神トス

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

且未和田村ニ再左門ト云有徳ノ人ノ才入
聟ニ成テ氏ヲ菅沼ト改菅沼新三再ト号
之永住三州也

一菅沼常陸介定隆ト云ハ菅沼大膳大夫
定忠法名心月ノ嫡子ト有之又心月ノ孫ト
大膳定廣ノ子ニテ心月ノ嫡子ト云ハ誤ノ
一菅沼新八再定則入通ネ春ト云野田立城領
三千貫ト云定忠二男ト云又圭子ト云ク
一菅沼織アヽ定盈ハ自　神君拝領ノ地合
七千貫ト云
一同二男織アヽ定芳法名円徹ト云初左近

定好ト云
一左近将監定照ハ定芳嫡子ニ而保四年
九月卒
一藤蔵定政後号土岐山城守菅沼ハ外祖
ノ氏ニ本氏土岐故ニ改之ト云　実又ハ土岐
兵部少(九郎)輔定明ハ菅沼負吉聲ニ
天文廿一年美乃一乱ノ時ニ定明戦死故藤
蔵ニ才ノ時分抱之テ菅沼常陸介方へ来
養育ノ後奉仕　神君永録七ニ藤蔵十四
才ニ常陸介カ為ニ甥ニ而ニ幸養子トスル故
常陸介嫡子成ヒ云ニ又ハ大猶才ニ有ク

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

木方明一流藤藏毋ハ大膳亮女信乃守妹
常陸介カ妍ト云土岐某ニ如此有之
一菅沼小大膳定利初花井勘九郎ト云傳ニ
無男子奥平信昌ニ男ヲ養子トス掃律
寺忠昌是ニ又云小大膳ハ常陸介カ伯父
大膳子ニ三州新城ニ主キ馬十三キノ役ヲ
勤自初属　神君ニ
一常陸介定登ヲ又一流ニ常陸介カ好嫁永
野若王門大夫忠改故ニ常陸介　神君外祖
又ト云ニ
一菅沼藤十郎定吉後、越後、寺大善太カニ

小大膳カ支流ニ同十郎定成後信乃守カ子
ニト云定成ハ定忠二男ト云ニ一流藤十郎ハ
神君伯母ノ子ニ云ニ
一駄峯ノ菅沼刑部初小法師後ノ大ゼんよ　属信玄山家
三方ノ一人ニ駄峯ハ信玄境ニ長篠ノ後駄
峯ヲモ明ケ信州ニ逃ル城守道寿ハ新
三郎カ家臣ニ長篠合戦ニ城ヲ棄テ信州ニ
ニテ自殺スト云刑ア亟ハ甲州没落於信州
自殺ト云ニ
一菅沼伊豆守ハ長篠ノ役ヲ勤ニ
在城、武田ニ属三十

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一菅沼新九郎ハ岩村境田ニ在城伯父伊
豆守カ不从諫テ武田方ヘ不勤軍事故
ニ秋山伯耆守カハカラニトメ新九郎ヲ土ノ籠ニ
大置真内ニ子半兵衛出生後仕紀伊頼宣
々十三年過小室落城ノ時父子土ノ籠ヨ
リ出ン山家三方ノ一人長篠ト云ハ伊豆守ノ
然ハ山家三方トハ籠子田峯長篠ノ築
手ハ奥ノ平

一菅沼次郎右エ門ハ井谷三人兄ノ
ノ時井伊直政本領井伊谷因旦三人兄
ヒ直政ヲカニ次郎右エ門於佐和山死子ハ直参

之列メリ今ノ次郎右エ門ニ
井伊谷三人兄ハ菅沼次郎
方田住ス鈴木三郎太夫重好
ス近藤石見守康国ノ
此三人元来井伊家ノ
属スト云

右菅沼家傳

文禄元三月一万千代君小金佐倉ヘ御国替
慶長七十二月廿五日大神君諸大名ヘ御
判物并朱印寺社ヘ御朱印ヲ下ス
八年八月十日於伏見城内頼房々誕生

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

同年岡崎平兵衛綱住伊藤玄蕃友玄
佰新九郎清許富田孫右エ門未蒙　台命
奉仕頼房公是諸士皆仕官初ノ
九年三木仁兵衛之次、岡崎内記利忠蒙台
命奉仕頼房公
十一年頼房公初テ常州真壁郡下妻ニ
テ十一万石領ス同月朝比奈兵衛尉泰雄
下妻城代ト成仕三千石于時泰雄住野州
足利
十二年正月十一日三木五兵衛玄輿若本
越中守典佐野甚右エ門在綱以下十二人

蒙台命奉仕頼房公下向駿府　同五日中山
同三月頼房公下向駿府　同五日中山
雅楽介丹佰信佰於駿府蒙鈞命家
老役ニ成五千石孫九郎知行三千五百石
拝領孫九郎十七才ノ十二月五日
十四年十二月茨城郡水戸城廿五石ヲ
十五年七月九日万千代主旧臣芦沢伊
賀信重佐野兵左衛門大森求馬以下三十
三人頼房公ヘ仕
同月依命仕嘉智殿為養子
七月廿八日水城清取中山備前信吉芦沢

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

伊賀
元和四鈴木石見重好 初屬井伊直政
奉仕五千石 後仕忠長々 頼房々
七年水戸常盤山仁王門 同年水野殿正分長一万五千
宮御宮也建立 石村瀬左馬允重治 二万石ヲ寄附
姫君入内
八年九月廿九日三万石ヲ加増 駒方郡内ヨリ
筋多賀郡 并紅葉々川根
松岡領
九年二月十四日北之路ヲ供伏見ニテ頼

房々前髪ヲ執
寛永五十二月中山内記信正嫡 信治 頼房へ
ヲ進和行八千石
二年七月十八日小石川ヲ屋敷拝領
十年九月山辺右エ門太夫義忠父子三人
水戸へヲ進義忠七千石ヲ内藏助義棟ニ
千石弥八郎義改千石
十一月千代松君水戸殿惣領ヲ三号左エ門
督
十二年三月松平壹岐守正朝二千石 同
志ヲ守重成三千石後加二千石
水戸へヲ進

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

十八年二月十一日水戸領検地惣高三十七万石
余之
二十年五月十八日頼之頼隆初謁見
兼忘三月近衛信尋女下向四月朱光
国々督札号泰姫
万治元酉十二月廿三日泰姫君逝去廿三才葬
吉田山号法光院
寛文元辛十月十四日久昌院殿逝去五十八
戊心周日勾
三年十二月四日於作出十一日松平右京為
御養子廿二日左エ門督綱方廿七日二四下右
廿吋

二年十一月十五日季姫君下向嫁綱條公
承禄三年五月廿三日公卿被岡崎城
十年五月廿七日信長女嫁信康君
天正十四年九月十四日御被駿府城
文禄四年九月十七日秀吉養女嫁台公
元和元年十二月十七日竹千代君御名字定
被降宸筆二条内府光平傳進之
二年二月三日家綱公着袴
三年八月三卅庵郷二
東照宮御鎮座九
月十七日迁宮

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

四年十一月八日天満大師号
慶安三九月二日家綱之移西丸
延宝七十二月十八日基熙女嫁綱豊之
天和二四月十七日舜昌永死

右亨留野氏順家記之畢

従一位行左大臣源朝臣綱吉公

種損係作幼君称之
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

後陣の西城に立ち入り
古盃つゝと下に於て菜用ふ
菜しき所方と世よりそ
こにつる所小柱と立ちまし
垂髪神尾利アの補
ら幼おつる立ち出ル

大坂西陣ご帥於菜西為立ち
ま入西後ご立ち 陣内二
倉西用 立斗し西和睦調 兵海ル立ち
後ご西後より西の方 為立ち
西感ご思ふ

自後ご大坂唐城於ご
為入西襲更ごて 陣
ら物ルを西中柱 立ち出 ご
右立ち下ル出 ル菜ル於
自立ち佐渡ル

一万時 根

紀伊西家康 水ご西後
入佐ご立ち一神宛 立
為入立ち下ル出 ル菜ル
ら西ル立ち出奥ル西守佐幸ごら

尾張西徳康 於菜西
為入立ち 陣ご西 於菜ル
立ち出 ル菜ル 赤梅檀
大佐ご佐 赤梅檀
ら西ル立ち出奥ル西秋為入

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

風俗（ママ）刑部も又
私てやとの
西門市孫市まんみんの
市ゟ退市市ゟ刑ア伯母飯田馬中
修ゟ市家部ゟ早く海ゟ
市ゟ家ゟ迎いゟと海ゟ寺ゟへ
大久保市馬ゟ西ゟ門ゟ私い私等ゟ中ゟ
ゟへまい市ゟて市ゟ上ゟ
市家市迎市ゟ
一信孫刑ア伯母ゟ指し
非尾ゟ門ゟ浦

門柔市馬市孫中ニ市坂市浦門ニ市侯柔
家浅ゟし市開お勢市市慶ゟ
第ゟ市市姓ニ市百ゟ計
下右い
推現孫
ゟ徳馬孫へ坂市黄市
市姓勢市市姓勢坂市
馬又表ゟ市市姓紀
迎市ゟ市孫沢市信舟
迎市ゟ市信舟ゟ
ゟこ鎗り市羊ゟ所ゟ迎

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

見候ニ付而ハ百姓急度仕候ハ
ハ不申候ハ
ハ不申候ハ
ハ
者ハ
ハ
ハ

[illegible]

大蔵院様御代官所知行三千
右之通

一佐原　　刑ア御陣二男　神尾主税

権現様ゟ幼年ゟ御目見仕ル
台徳院様ゟ御書院番ゟ
右之通被　仰付

[illegible]

御慶ニ而ゟ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

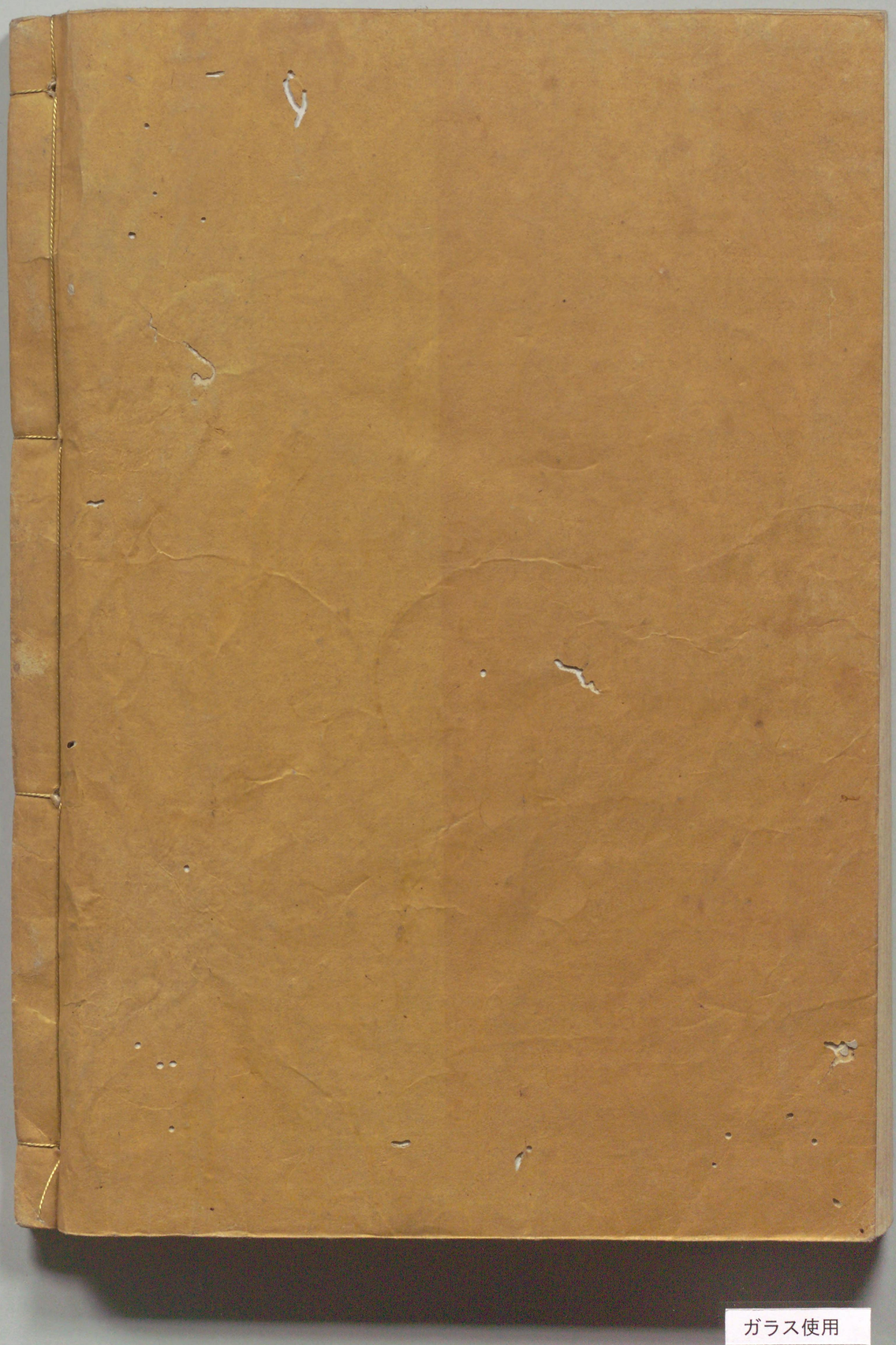
ガラス使用

大蔵院様　巌有院様
仕
亜相院殿　大久保主
亡人ニ　第
巌有院様　御代
御
巌有院様
御代
常憲院様　天眼院様
御代
御
元帳

1000
3

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用



国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用